

米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）

追加型投信／海外／株式

スペシャルレポート

ポートフォリオ・マネジャーに聞く

市場で見過ごされている“次世代のビッグカンパニー”を
「成長テーマ」「企業の質」「バリュエーション」で見極める

設定14年を迎えた「米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）」の実質的な運用を担うニュートン・インベストメント・マネジメントのポートフォリオ・マネジャー、モンティ・コリに、足元の運用状況や注目テーマについて話を聞きました。

—足元の運用状況と今後の投資方針について。

「米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）」（以下、当ファンド）は2026年初来、堅調なパフォーマンスを維持してきましたが、8月以降は、組入比率の高い情報技術および資本財・サービスセクターの株価下落を受け、パフォーマンスがやや低迷しました。情報技術セクターではAIインフラ関連銘柄が幅広く売られたほか、オーバーウェイトとしている米国のリショアリング（生産拠点の国内回帰）関連の資本財・サービス関連銘柄も、金利上昇を背景に売り圧力が強まりました。

私たちは引き続き、米国製造業のリショアリングや、設計から製造・検査・供給に至る半導体関連産業をはじめ、米国のAI分野における競争優位を支える戦略的重要産業（量子技術、次世代エネルギー、航空宇宙など）の強化という成長テーマについて、前向きな見方をしています。

足元の調整局面を投資機会と捉え、情報技術および資本財・サービスセクターでは、主要な成長テーマの恩恵が期待できる確信度の高い既存銘柄を積み増しました。また、大幅な株価下落により投資妙味が高まった新規銘柄への投資も開始しています。

私たちは米国製造業を支える強力かつ長期的な構造トレンドは継続すると見ています。足元の株価下落は魅力的な銘柄を積み増す好機であり、将来の収益成長につながる大きなチャンスと捉えています。

ニュートン・インベストメント・マネジメント*
ポートフォリオ・マネジャー モンティ・コリ

—AI産業の成長鈍化リスクをどう考えますか。

短期的にはAI産業の成長が鈍化するリスクはあります。しかし中長期的には、AI関連ビジネスは成長分野であることを確信しています。現在、AIインフラの経済全体への浸透率は1%未満と非常に小さく、今後も大きな成長余地があるといえるでしょう。

ただし、当ファンドは、AIインフラだけに焦点を当てているわけではありません。仮に足元のAIビジネスが減速しても、米国は半導体のサプライチェーン（供給網）構築への大規模投資を続けるでしょう。これは10年以上かかる取り組みであり、その間はAI産業の持続的発展が期待できます。

*ニュートン・インベストメント・マネジメントはBNYインベストメンツ傘下の運用会社。
上記は当資料作成時点の見解であり、将来の運用成果などを示唆・保証するものではありません。また、予告なく変更されることがあります。

米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）

追加型投信／海外／株式

スペシャルレポート

—他のファンドと比べた当ファンドの強みとは。

私たちは米国の製造業関連の魅力的な長期成長ストーリーや成長産業を見つけることに注力しています。当ファンドは、成長の初期段階にあり、市場がそのポテンシャルを十分に理解していない相対的に時価総額の小さい銘柄「次世代のビッグカンパニー」を厳選します。

—市場で見過ごされている銘柄をどのように発掘するのか。

まず私たちは、企業と関連が深い「成長テーマ」の持続性に着目します。例えば、半導体など米国製造業のリショアリングは関連企業に長期メリットをもたらします。

次に「企業の質」を見極めます。高い利益率を稼げるか、価格決定力があるか、インフレ局面で自社製品を値上げできるかなど確認します。そのうえで、今後数年間にどれだけ早く利益水準を引き上げられるか、加えてそれが市場予想を上回るかを注意深く見守ります。

そして「バリュエーション」をチェックします。通常は少なくとも50%の株価上昇余地を求めます。ポートフォリオ管理でもバリュエーションに注意します。保有中に株価が上昇し、目標株価に近づいた場合はポジションを減らし、良い投資機会を待ちます。

—マグニフィセント7*をポートフォリオに組み入れていない理由を教えてください。

マグニフィセント7をはじめとする巨大テクノロジー企業は市場ですでに十分理解されており、バリュエーションも適正水準に近いといえます。また、巨大テクノロジー企業は利益の多くをデータセンター建設など巨額投資に回しており、フリーキャッシュフローが懸念材料です。私たちはその巨大テクノロジー企業の支出の恩恵を受ける企業、例えばデータセンター向けに機器や電力を供給する企業などを厳選し、投資しています。それらの投資先企業は巨大テクノロジー企業と比べて利益成長のスピードが速いといえます。このようなボトムアップ・アプローチに基づく

銘柄選別を徹底した結果、ポートフォリオは時価総額がより小さい銘柄が中心になります。

—米国経済の現状と今後の注目テーマは。

米国政府は安全保障強化や特定国への依存回避などを目的に、半導体の米国内供給網の整備と生産回帰といった独自のサプライチェーン構築に力を入れています。そのため半導体製造装置企業や、製造能力の拡大を支える関連企業を注視しています。建設業も新たな半導体施設や製造に欠かせない発電施設の建築需要で力強い成長が見込まれます。

電力需要の増加も長期的かつ持続的な成長テーマといえるでしょう。中国は電力供給能力を年々高めており、幅広い産業で成功を収めています。米国が追いつくためには、ガスタービン、原子力、さらには地熱など含む、様々な電源を確保していく必要があります。

さらに、注目テーマとしては量子技術、宇宙関連などが挙げられます。宇宙関連企業の将来性は有望であり、当ファンドのポートフォリオにも組み入れています。これらは宇宙関連ビジネスの発展による事業成長が期待できる中小型企业です。AI関連企業に関しては、大企業のAI採用の広がりを注視しています。その設備投資増加の恩恵が見込める企業に投資していきます。

今の米国には、半導体、リショアリング、宇宙、量子技術などの成長テーマが存在し、利益成長の拡大ペースが速い企業と投資機会を生み出していると考えます。

ポートフォリオの状況

規模別構成比（時価総額、2026年7月31日時点）

大型株（400億米ドル以上）	41.3%
中型株（40億米ドル以上400億米ドル未満）	55.9%
小型株（40億米ドル未満）	2.8%
合計	100.0%

*「マグニフィセント7」とは、米国の巨大テクノロジー銘柄7社（アップル、アマゾン・ドット・コム、アルファベット、エヌビディア、テスラ、マイクロソフト、メタ・プラットフォームズ）を指します。上記は当資料作成時点の見解であり、将来の運用成果などを示唆・保証するものではありません。また、予告なく変更されることがあります。

「規模別構成比」はマザー・ファンド株式運用部分の評価金額に対する比率です。区分はBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパンの基準に基づきます。小数点第二位以下を四捨五入して表示しており、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。

米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）

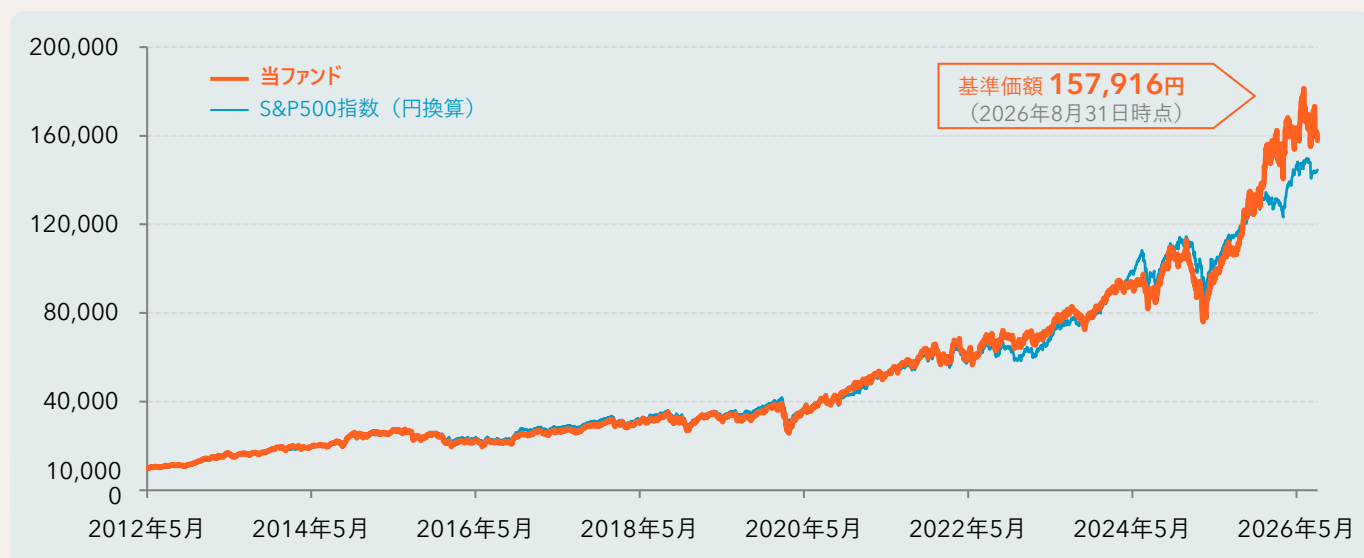
追加型投信／海外／株式

スペシャルレポート

当ファンドの組入銘柄（合計34銘柄）（2026年7月31日時点）

	組入上位10銘柄	業種	構成比	概要
1	ゼネラル・エレクトリック（GEエアロスペース）	資本財・サービス	5.8%	ジェットエンジンの製造ほか、商用・軍事・民間航空機向け電源や飛行管理システムを手掛ける。
2	ハウメット・エアロスペース	資本財・サービス	5.4%	航空宇宙産業向けに精密金属加工部品を提供。ほぼ全ての主要な航空機やジェットエンジンに採用。
3	G E ベルノバ	資本財・サービス	5.3%	電力会社。ガス・蒸気・水力・風力タービン、原子炉などの発電設備を提供。
4	カーチス・ライト	資本財・サービス	5.2%	航空宇宙・防衛産業向けに、精密機器やシステムなどを開発、製造。原子力発電関連事業にも参入。
5	ラムリサーチ	情報技術	5.0%	ICチップ製造に不可欠な成膜や回路を削るエッチング技術に強みを持つ半導体製造装置メーカー。
6	ハーク・ホールディングス	資本財・サービス	4.8%	高所作業車、掘削機、発電機などの建設重機のレンタルや中古機器販売などを手掛ける。
7	アメテック	資本財・サービス	4.5%	航空宇宙、医療、研究、商工業用の電子計測器やロボット向け精密機器などを開発、製造。
8	インガソール・ランド	資本財・サービス	4.4%	工場や製造現場で不可欠となるコンプレッサー（圧縮機）の大手サプライヤー。
9	レプリジェン	ヘルスケア	4.0%	バイオ医薬品の製造に使用されるろ過システム、分析システムなどを開発、製造。
10	ダナハー	ヘルスケア	4.0%	バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断に関わる機器、ソフトウェアなどを提供。

当ファンドの基準価額の推移（2012年5月30日（設定日：2012年5月31日）～2026年8月31日）



業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。上記構成比はマザーファンド株式運用部分の評価金額に対する比率です。上記構成比は小数点第二位以下を四捨五入して表示しており、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのデータに基づきBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパンが作成。上記の個別銘柄は、当ファンドへの組入や保有の継続を示唆・保証するものではありません。また、当該個別銘柄等の購入、売却等いかなる投資推奨を目的とするものではありません。

基準価額はファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しています。出所：ブルームバーグに基づきBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパンが作成。基準価額は信託報酬控除後のものです。基準価額は換金時の費用、税金などは考慮していません。

上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。

米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）

追加型投信／海外／株式

投資リスク

基準価額の変動要因（主な投資リスク）

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き（外貨建資産には為替変動もあります。）により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

以下の事項は、マザーファンドのリスクも含まれます。

価格変動リスク	株式の価格動向は、個々の企業の活動や、国内および国際的な政治・経済情勢の影響を受けます。そのため、当ファンドの投資成果は、株式の価格変動があった場合、元本欠損を含む重大な損失が生じる場合があります。
株式の発行企業の信用リスク	当ファンドは、実質的に株式への投資を行うため、株式発行企業の信用リスクを伴います。株式発行企業の経営・財務状況の悪化等に伴う株価の下落により、当ファンドの基準価額が下落し元本欠損が生ずるおそれがあります。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金がほとんど回収できなくなることがあります。
為替変動リスク	為替変動リスクは、外国為替相場の変動により外貨建資産の価額が変動するリスクのことをいいます。外貨建資産を保有する場合、当該通貨と円の為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。当該資産の通貨に対して円高になった場合にはファンドの基準価額が値下がりする要因となります。当ファンドおよびマザーファンドは為替ヘッジを行いませんので、為替変動により、信託財産の価値が大きく変動することがあります。
流動性リスク	流動性リスクは、有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく希望する時期に希望する価格で売却することが不可能となることあるいは売り供給がなく希望する時期に希望する価格で購入することが不可能となること等のリスクのことをいいます。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ	当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
流動性リスクにかかる留意点	当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金のお申込みの受付が中止となる可能性、すでに受付けた換金のお申込みの受付が取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
収益分配金にかかる留意点	- 収益分配金は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。したがって、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間中におけるファンドの収益率を示すものではありません。 - 受益者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。 - 収益分配金は、ファンドの純資産から支払われますので、収益分配金の支払い後の純資産は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に収益分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比較して下落することになります。

米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）

追加型投信／海外／株式

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 収益分配金を再投資する場合は1口の整数倍とします。 ※「一般コース」および「自動継続投資コース」があります。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示しています。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目より、申込みの販売会社でお支払いします。
購入・換金 申込不可日	以下のいずれかの日に該当する場合はお申込みできません。 ・ニューヨークの取引所の休場日 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・委託会社が別途定める日
申込締切時間	原則として営業日の午後3時30分までに販売会社が受付けた分を当日の申込み分とします。 ※販売会社によって異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、委託会社の判断により、大口のご換金の場合には制限を設けさせていただく場合があります。
購入・換金 申込受付中止 および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は、受益権の購入・換金の申込みの受け付けを中止することおよびすでに受付けた申込みの受け付けを取消す場合があります。
信託期間	2050年5月17日まで（当初信託設定日：2012年5月31日） ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、信託期間を延長することができます。
繰上償還	受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合等には、繰上償還することがあります。
決算日	毎年5月17日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。 分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。 ※「自動継続投資コース」の場合、収益分配金は税引き後再投資されます。
信託金の限度額	2,000億円
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎決算後および償還時に交付運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する事項を記載した書面をいいます。）を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に提供します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。

米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）

追加型投信／海外／株式

ファンドの費用・税金

ファンドの費用		
投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入価額× 上限3.3%（税抜 3.0%） （手数料率は販売会社が定めます。） ※自動継続投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、申込手数料はかかりません。	《当該手数料を対価とする役務の内容》 販売会社による商品および関連する投資環境の説明・ 情報提供等、ならびに購入に関する事務手続き等
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額× 0.3%	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 （信託報酬）	運用管理費用の総額＝信託財産の日々の純資産総額× 年率1.87%（税抜 1.70%） 運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われますが、日々費用として計上されており、日々の基準価額は運用管理費用控除後となります。 運用管理費用の配分は、以下のとおりです。	
	支払先	料率
	委託会社	年率0.85%（税抜）
	販売会社	年率0.80%（税抜）
	受託会社	年率0.05%（税抜）
	《当該運用管理費用を対価とする役務の内容》	
	信託財産の運用指図（投資顧問会社によるマザーファンドの運用指図を含む）、法定開示書類の作成、基準価額の算出等	
	購入後の情報提供、運用報告書 ^{（注）} 等各種書類の提供・送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	
	信託財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等	
	（注）投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項および第2項に規定する事項を記載した書面をいいます。	
その他費用・ 手数料	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用、信託財産の管理、運営にかかる費用（目論見書・運用報告書等法定開示書類の印刷、交付、提供および提出にかかる費用等を含みます。日々の純資産総額に対して上限年率0.05%）は、日々費用として計上され、運用管理費用（信託報酬）支払いのときに信託財産より支払われます。また、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、マザーファンドの解約に伴う信託財産留保額、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。 ◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。	

※上記費用の総額につきましては、投資者の皆様の有保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他関係法人

ファンドの関係法人

委託会社	BNY Mellon Investment Management Japan株式会社（信託財産の運用指図等）
投資顧問会社*	ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（信託財産の保管・管理業務等）
販売会社	（ファンドの募集・販売の取扱い等） 販売会社は次のページの表をご参照ください。

* マザーファンドの運用の指図権限の一部を「ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー」に委託します。

米国製造業株式ファンド（愛称 USルネサンス）

追加型投信／海外／株式

販売会社一覧

お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
アイゼワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
十六 T T 証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第188号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

ご留意事項

- 当資料は、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成した販売用資料です。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。
- 当資料に掲載されている記載事項は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。
- 当資料中のグラフ、数値等は過去のものまたはシミュレーションの結果であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
- 当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。
- 当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、お客様ご自身でご判断ください。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第406号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

特設ページはこちら ▶

